

国語科学習指導略案

あさひ子学級3組 6名 指導者 小川 誠

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 「見える図」を用いて子どもの思考を整理・分析することは、思考力・判断力・表現力を育成するための手立てとして有効であったか。
- 協同的な「学び合い」を通して、個が考えたことを共有化することは、思考力・判断力・表現力を育成するための手立てとして有効であったか。

1 単元音読げきをしよう

2 指導計画（総時数17時間）

過程	主な学習活動	評価規準						時間
		A（1年）	B（3年）	C（3年）	D（4年）	E（4年）	F（5年）	
つかむ見通す	1 音読劇をする話を決める。 ・ いろいろな紙芝居や絵本を読む。 ・ みんなでする音読劇を決める。	教師と一緒に読みたい話を選ぶとしている【関】	教師と一緒に読みたい話を選ぶとしている【関】	音読劇の話を何にするか進んで考えようとしている【関】	音読劇の話を何にするか進んで考えようとしている【関】	音読劇の話を何にするか進んで考えようとしている【関】	教師と一緒に読みたい話を選ぶとしている【関】	2
調べる	2 音読劇の読み合わせをする。 ・ 役割分担をして、登場人物ごとに読む。 ・ 全文を読んで、登場人物の様子をつかむ。	教師と一緒に登場人物から自分がやりたいものを見つけようとしている【関】	教師と一緒に登場人物から自分がやりたいものを見つけようとしている【関】	登場人物とその特徴を考え、進んで音読しようとしている【関】	登場人物とその特徴を考え、進んで音読しようとしている【関】	登場人物とその特徴を考え、進んで音読しようとしている【関】	教師と一緒に登場人物から自分がやりたいものを見つけようとしている【関】	5
	3 場面ごとに音読し、立ちがいこをする。 ・ 自分の読む場面を視写する。 ・ 自分の読む場面や台詞を音読する。 ・ 台詞に合わせて動きをつける。	教師と一緒に平仮名を一文字ずつ大きな声で拾い読みできる【読】	教師と一緒に平仮名を一文字ずつ大きな声で拾い読みできる【読】	句読点に気をつけながら音読できる【読】	句読点に気をつけ、速さに気をつけながら音読できる【読】	登場人物の様子がわかるように音読できる【読】	教師と一緒に平仮名を一文字ずつ大きな声で拾い読みできる【読】	5
	4 全文を音読し、通しがいこをする。	教師と一緒に手本を見ながら平仮名を書くことができる【書】	教師と一緒に手本を見ながら平仮名を書くことができる【書】	手本を見ながら正しい字形で平仮名を書くことができる【書】	習った漢字を使い、正しい字形で平仮名を書くことができる【書】	習った漢字を使い、手本を見ながら正しく視写できる【書】	教師と一緒に手本を見ながら平仮名を書くことができる【書】	3
まとめるいかす	5 音読劇を発表する。 ・ 音読劇をあさひ子学級の子どもの前で発表する。	音読劇を発表しようとしている【関】	音読劇を発表しようとしている【関】	音読劇を楽しみながら発表しようとしている【関】	音読劇を楽しみながら発表しようとしている【関】	音読劇を楽しみながら発表しようとしている【関】	音読劇を発表しようとしている【関】	1
	6 学習を振り返る。 ・ 自分のよかったところや友達のよかったところを話し合う。	役割になりきり、台詞を読むことができる【読】	役割になりきり、台詞を読むことができる【読】	声の大きさや速さに気をつけながら音読できる【読】	登場人物の様子がわかるように音読できる【読】	聞き手への意識をもちながら音読をしている【読】	役割になりきり、台詞を読むことができる【読】	1

3 本時（12／17）

(1) 目標

前時の場面を振り返り、本時の場面について、教師や友達と一緒に視写をしたり、音読をしたりすることができるようにする。

(2) 評価規準

A (1年)	B (3年)	C (3年)	D (4年)	E (4年)	F (5年)
平仮名を一文 字ずつ大きな声 で拾い読みをす ることができる。 【読】	平仮名を一文 字ずつ大きな声 で拾い読みをす ることができる。 【読】	句読点に気を つけながら、台 本の文を読むこ とができる。 【読】	句読点に気を つけ、速さに気 をつけながら音 読の練習をして いる。【読】	気持ちを込 めて登場人物 の気持ちがわ かるように音 読できる。 【読】	平仮名を一文 字ずつ大きな声 で拾い読みをす ることができる。 【読】

(3) 指導に当たって

「つかむ」「見通す」過程では、学習計画表を基にこれまでの学習を振り返り、本時の学習内容を確認し、活動の見通しをもつことができるようにする。また、本時に学習する場面がわかるようにあらすじボードで段落を確認できるようにする。

「調べる」過程では、学習する場面の読み聞かせを聞き、場面の様子をつかむことができるようにする。次に、個に合わせて作成した台本の手本やワークシートを用いて視写したり、音読したりすることで、自分が音読する場所を理解できるようにする。拡大した台本を見ながら、自分が音読する場所をつかみ、動作を付け加えながら読み進めることができるようにする。

「まとめる」「振り返る」過程では、学習した場面を通して音読劇を行い、一人一人が練習したものが合わさって完成する達成感を味わわせたい。また、学習計画表で次時の学習では、全文を通した学習を行うことを確かめ、意欲を高めることができるようにする。

(4) 本時の展開

重点化するスキル [] 子どもの意識 ○ 指導の手立て ※ 評価

過程	時間	主な学習活動と指導の手立て	教材等
つかむ・見通す	8	1 学習計画表を基に、前時までの学習の振り返りをし、あらすじボードで本時の場面を確認する。 [前時までのお話、楽しかったね。 今日ではどんなお話になるのかな。 音読劇ももうすぐ完成だね。] 2 本時のめあてを確認する きく ひとに よく つたわるように おん ぐを しよう。 3 本時の学習の流れを確認する。 [視写をして、音読の練習をする。 最後に、本時の場面の音読劇をする。]	学習計画表 あらすじボード テレビ写真等
調べる	30	4 本時の場面の読み聞かせを聞く。 [今日では、最後の場面をするんだね。 登場人物の最後の様子がおもしろいね。] 5 自分の役割の部分を視写したり、音読したりして音読劇の練習をする。 6 自分の役割に気をつけて、友達のよさを見つけながら、全体で音読劇の練習をする。 比較する [自分が読むところは、ここだな。 友達みたいに読み方を工夫してみよう。]	ワークシート
まとめる・いかす	7	7 学習のまとめをする。 大きな声で、ゆっくり読んだり、登場人物の気持ちになって読むと聞く人に伝わる。 8 本時の学習を振り返り、次時に学習することを確かめる。 [今日は、自分の役割を練習したぞ。 次時は、全文を通した練習をする。 もうすぐ音読劇ができあがるぞ。]	台本の拡大版 学習計画表